

学校コード F123310106666

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

名城大学

理工学部

環境創造工学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名城大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合企画部 学長室

職名・氏名 課長 スズキ 鈴木 チトシ 千敏

電話番号 052-838-2004

（夜間） 052-838-2004

e-mail kikaku@ccml.meijo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、

当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理工学部

＜環境創造工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人名城大学

(2) 大学名

名城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒468-8502

愛知県名古屋市中白区塩釜口一丁目501番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タチバナ テイジ) 立花 貞司 (令和2年1月)		
学長	(オハラ アキヒロ) 小原 章裕 (平成31年4月)		
理工学部長	(サイトウ キミアキ) 齊藤 公明 (平成31年4月)		
環境創造工学科長	(ドウショウ ヤスヒロ) 道正 泰弘 (令和2年4月)	(ミヤケ カツヒデ) 三宅 克英 (令和2年11月)	一身上の都合上により令和2年11月26日に変更(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工学部 環境創造工学科 学士（工学）	工学関係	4 年	80 人	— 人	320 人	新規入学者を募集 中	【基礎となる学部等】理工学部環境創造学科（令和2年度から学生募集停止）

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—	—	—	—	80 ((—)) [—]	—	80 ((—)) [—]	—	80 ((—)) [—]	—	0.92倍	—	編入学は2 年次及び3 年次に実施
志願者数	—	—	—	—	723 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	631 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	581 ((0)) [0]	— ((—)) [—]			
受験者数	—	—	—	—	707 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	618 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	543 ((0)) [0]	— ((—)) [—]			
合格者数	—	—	—	—	274 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	255 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	261 ((0)) [0]	— ((—)) [—]			
B 入学者数	—	—	—	—	79 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	80 ((0)) [0]	— ((—)) [—]	64 ((0)) [0]	— ((—)) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		0.98		1.00		0.80				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					79 [-] (-)	- [-] (-)	83 [-] (3)	- [-] (-)	66 [-] (2)	- [-] (-)	
2年次							72 [-] (-)	- [-] (-)	82 [-] (4)	- [-] (-)	
3年次									71 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次											
計					79 [-] (-)		155 [-] (3)		219 [-] (6)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	79人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	就職(1人)、除籍(1人)
令和3年度	155人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	他の教育機関への入学・転学(2人)
			令和3年度	0人	0人	—
令和4年度	219人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	—
			令和3年度	0人	0人	—
			令和4年度	0人	0人	—
合計		4人		4人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{79} = \boxed{2.53} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{155} = \boxed{1.29} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{219} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学部 環境創造工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ	1前		1							5
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1							5
	英語コミュニケーションⅢ	2前		1							4
	英語コミュニケーションⅣ	2後		1							4
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	3前		1							2
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	3後		1							2
	ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語Ⅲ	2前		1							1
	ドイツ語Ⅳ	2後		1							1
	フランス語Ⅰ	1前		1							1
	フランス語Ⅱ	1後		1							1
	フランス語Ⅲ	2前		1							1
	フランス語Ⅳ	2後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							2
	中国語Ⅱ	1後		1							2
	中国語Ⅲ	2前		1							2
	中国語Ⅳ	2後		1							2
	体育科学Ⅰ	1前		1							6
	体育科学Ⅱ	1後		1							6
	体育科学Ⅲ	2前		1							5
	体育科学Ⅳ	2後		1							5
	人文科学基礎Ⅰ	1前		2							3
	人文科学基礎Ⅱ	1後		2							3
	社会科学基礎Ⅰ	1前		2							2
	社会科学基礎Ⅱ	1後		2							2
	アジア文化論Ⅰ	2前		2							2
	アジア文化論Ⅱ	2後		2							2
	欧米文化論Ⅰ	2前		2							2
	欧米文化論Ⅱ	2後		2							2
	国際関係論	3前		2							1
	文学	3前		2							1
	日本国憲法	3前		2							2
	国際経済論	3後		2							1
	心理学	3後		2							3
	基礎ゼミナールⅠ	1前		1							17
	基礎ゼミナールⅡ	1後		1							16
	職業指導論	3前		2							1
小計(38科目)	—		0	52	0	0	0	0	0	0	59
専門教育部門	理工学基礎科目										
	微分積分Ⅰ	1前		2							4
	微分積分Ⅱ	1後		2							4
	線形代数Ⅰ	1前		2							5
	線形代数Ⅱ	1後		2							5
	物理学Ⅰ	1前		2							7
	物理学Ⅱ	1後		2							7
	物理学演習	1後		1							2
	物理学実験Ⅰ	1前		1							4
	物理学実験Ⅱ	1後		1							4
	化学Ⅰ	1前		2							1
	化学Ⅱ	1後		2							1
	化学実験Ⅰ	1前		1							1
	化学実験Ⅱ	1後		1							1
地学Ⅰ	1前		2							1	
地学Ⅱ	1後		2							1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ	1前		1							5
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1							5
	英語コミュニケーションⅢ	2前		1							4
	英語コミュニケーションⅣ	2後		1							4
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	3前		1							5
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	3後		1							5
	ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語Ⅲ	2前		1							1
	ドイツ語Ⅳ	2後		1							1
	フランス語Ⅰ	1前		1							1
	フランス語Ⅱ	1後		1							1
	フランス語Ⅲ	2前		1							1
	フランス語Ⅳ	2後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							2
	中国語Ⅱ	1後		1							2
	中国語Ⅲ	2前		1							2
	中国語Ⅳ	2後		1							2
	体育科学Ⅰ	1前		1							6
	体育科学Ⅱ	1後		1							6
	体育科学Ⅲ	2前		1							5
	体育科学Ⅳ	2後		1							5
	人文科学基礎Ⅰ	1前		2							3
	人文科学基礎Ⅱ	1後		2							3
	社会科学基礎Ⅰ	1前		2							3
	社会科学基礎Ⅱ	1後		2							3
	アジア文化論Ⅰ	2前		2							2
	アジア文化論Ⅱ	2後		2							2
	欧米文化論Ⅰ	2前		2							2
	欧米文化論Ⅱ	2後		2							2
	国際関係論	3前		2							1
	文学	3前		2							1
	日本国憲法	3前		2							2
	国際経済論	3後		2							1
	心理学	3後		2							2
	基礎ゼミナールⅠ	1前		1					1		20
	基礎ゼミナールⅡ	1後		1					0	1	16
	職業指導論	3前		2							1
小計(38科目)	—		0	52	0	0	1	0	0	0	65
専門教育部門	理工学基礎科目										
	微分積分Ⅰ	1前		2							3
	微分積分Ⅱ	1後		2							3
	線形代数Ⅰ	1前		2							3
	線形代数Ⅱ	1後		2							3
	物理学Ⅰ	1前		2							7
	物理学Ⅱ	1後		2							7
	物理学演習	1後		1							2
	物理学実験Ⅰ	1前		1							4
	物理学実験Ⅱ	1後		1							4
	化学Ⅰ	1前		2							1
	化学Ⅱ	1後		2							1
	化学実験Ⅰ	1前		1							2
	化学実験Ⅱ	1後		1							2
地学Ⅰ	1前		2							1	
地学Ⅱ	1後		2							1	

【認可時又は届出時】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数, 専任教員等の配置, 兼任・兼担. Includes rows for 理工学基礎科目, 共通, 専門教育部門 (エネルギー・資源循環, 環境共生, 人間活動環境).

【令和4年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数, 専任教員等の配置, 兼任・兼担. Includes rows for 理工学基礎科目, 共通, 専門教育部門 (エネルギー・資源循環, 環境共生, 人間活動環境).

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育部門	環境文化論	2後		2		1							
	アーバンデザイン	3前		3		1							
	環境マネジメント	3後		2		1							
	快適性創造学Ⅰ	2前		2		1							
	快適性創造学Ⅱ	2後		2		1							
	環境創造設備学Ⅰ	3前		2		1							
	環境創造設備学Ⅱ	3後		2		1							
	材料力学	2前		2			1						
	構造力学Ⅰ	2後		2			1						
	構造力学Ⅱ	3前		2			1						
	環境構造設計法	3後		3		1							
	建設施工学	3後		2							1		
	建設法規	3後		2							1		
	共通	環境倫理	1後		2		1						
		環境法	3前		2							1	
		インターンシップ	3前		1		1						
		ゼミナール	3後	2			5	5					
		卒業研究・卒業制作	4通	4			5	5					
	小計(93科目)	-	10	153	8	6	5	0	0	0	0	68	
合計(131科目)	-	10	205	8	6	5	0	0	0	0	126		
卒業要件及び履修方法													
必修科目10単位、総合基礎部門の選択科目から20単位以上、専門教育部門の選択科目から94単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育部門	環境文化論	2後		2		1							
	アーバンデザイン	3前		3		1						5	
	環境マネジメント	3後		2		0	1						
	快適性創造学Ⅰ	2前		2		0	1					1	
	快適性創造学Ⅱ	2後		2		0	1					1	
	環境創造設備学Ⅰ	3前		2		0	1						
	環境創造設備学Ⅱ	3後		2		0	1						
	材料力学	2前		2			1						
	構造力学Ⅰ	2後		2			1						
	構造力学Ⅱ	3前		2			1						
	環境構造設計法	3後		3		1						1	
	建設施工学	3後		2								1	
	建設法規	3後		2								1	
	共通	環境倫理	1後		2		0						1
		環境法	3前		2								1
		インターンシップ	3前		1		0	1					
		ゼミナール	3後	2			5	5					
		卒業研究・卒業制作	4通	4			5	5					
	小計(94科目)	-	10	155	8	5	5	0	0	0	0	95	
合計(132科目)	-	10	207	8	5	5	0	0	0	0	156		
卒業要件及び履修方法													
必修科目10単位、総合基礎部門の選択科目から20単位以上、専門教育部門の選択科目から94単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))													

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								4
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								4
	英語コミュニケーションⅢ	2前	1								4
	英語コミュニケーションⅣ	2後	1								4
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	3前	1								2
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	3後	1								2
	ドイツ語Ⅰ	1前	1								1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1								1
	ドイツ語Ⅲ	2前	1								1
	ドイツ語Ⅳ	2後	1								1
	フランス語Ⅰ	1前	1								1
	フランス語Ⅱ	1後	1								1
	フランス語Ⅲ	2前	1								1
	フランス語Ⅳ	2後	1								1
	中国語Ⅰ	1前	1								2
	中国語Ⅱ	1後	1								2
	中国語Ⅲ	2前	1								2
	中国語Ⅳ	2後	1								2
	体育科学Ⅰ	1前	1								5
	体育科学Ⅱ	1後	1								5
	体育科学Ⅲ	2前	1								5
	体育科学Ⅳ	2後	1								5
	人文科学基礎Ⅰ	1前	2								2
	人文科学基礎Ⅱ	1後	2								2
	社会科学基礎Ⅰ	1前	2								3
	社会科学基礎Ⅱ	1後	2								3
	アジア文化論Ⅰ	2前	2								2
	アジア文化論Ⅱ	2後	2								2
	欧米文化論Ⅰ	2前	2								2
	欧米文化論Ⅱ	2後	2								2
	国際関係論	3前	2								1
	文学	3前	2								1
	日本国憲法	3前	2								2
国際経済論	3後	2								1	
心理学	3後	2								3	
基礎ゼミナールⅠ	1前	1			1	2				16	
基礎ゼミナールⅡ	1後	1			1	2				15	
職業指導論	3前	2								1	
小計(38科目)	—	0	52	0	1	2	0	0	0	57	
専門教育部門	理工学基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2							2
		微分積分Ⅱ	1後	2							2
		線形代数Ⅰ	1前	2							2
		線形代数Ⅱ	1後	2							2
		物理学Ⅰ	1前	2							1
		物理学Ⅱ	1後	2							1
		物理学演習	1後	1							1
		物理学実験Ⅰ	1前	1							4
		物理学実験Ⅱ	1後	1							4
		化学Ⅰ	1前	2							1
		化学Ⅱ	1後	2							1
		化学実験Ⅰ	1前	1							2
		化学実験Ⅱ	1後	1							2
		地学Ⅰ	1前	2							1
		地学Ⅱ	1後	2							1
		地学実験Ⅰ	1前	1							2
		地学実験Ⅱ	1後	1							2
		生物学	1後	2							1
		生物学実験	2前	1							1
		理工学概論	1前	2			3	2			10
技術者倫理	2後	2							2		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								5
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								5
	英語コミュニケーションⅢ	2前	1								4
	英語コミュニケーションⅣ	2後	1								4
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	3前	1								2
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	3後	1								2
	ドイツ語Ⅰ	1前	1								1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1								1
	ドイツ語Ⅲ	2前	1								1
	ドイツ語Ⅳ	2後	1								1
	フランス語Ⅰ	1前	1								1
	フランス語Ⅱ	1後	1								1
	フランス語Ⅲ	2前	1								1
	フランス語Ⅳ	2後	1								1
	中国語Ⅰ	1前	1								2
	中国語Ⅱ	1後	1								2
	中国語Ⅲ	2前	1								2
	中国語Ⅳ	2後	1								2
	体育科学Ⅰ	1前	1								6
	体育科学Ⅱ	1後	1								6
	体育科学Ⅲ	2前	1								5
	体育科学Ⅳ	2後	1								5
	人文科学基礎Ⅰ	1前	2								3
	人文科学基礎Ⅱ	1後	2								3
	社会科学基礎Ⅰ	1前	2								3
	社会科学基礎Ⅱ	1後	2								3
	アジア文化論Ⅰ	2前	2								2
	アジア文化論Ⅱ	2後	2								2
	欧米文化論Ⅰ	2前	2								2
	欧米文化論Ⅱ	2後	2								2
	国際関係論	3前	2								1
	文学	3前	2								1
	日本国憲法	3前	2								2
国際経済論	3後	2								1	
心理学	3後	2								3	
基礎ゼミナールⅠ	1前	1				1				17	
基礎ゼミナールⅡ	1後	1			1	1				15	
職業指導論	3前	2								1	
小計(38科目)	—	0	52	0	1	2	0	0	0	60	
専門教育部門	理工学基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2							4
		微分積分Ⅱ	1後	2							4
		線形代数Ⅰ	1前	2							5
		線形代数Ⅱ	1後	2							5
		物理学Ⅰ	1前	2							7
		物理学Ⅱ	1後	2							7
		物理学演習	1後	1							2
		物理学実験Ⅰ	1前	1							5
		物理学実験Ⅱ	1後	1							5
		化学Ⅰ	1前	2							1
		化学Ⅱ	1後	2							1
		化学実験Ⅰ	1前	1							2
		化学実験Ⅱ	1後	1							2
		地学Ⅰ	1前	2							1
		地学Ⅱ	1後	2							1
		地学実験Ⅰ	1前	1							2
		地学実験Ⅱ	1後	1							2
		生物学	1後	2							1
		生物学実験	2前	1							1
		理工学概論	1前	2			1	0			13
技術者倫理	2後	2							1		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門教育部門	理工学基礎科目	コンピューターリテラシー	1前	2							2	
		数学基礎演習Ⅰ	1前		1						5	
		数学基礎演習Ⅱ	1後		1						5	
		物理学基礎演習Ⅰ	1前		1						1	
		物理学基礎演習Ⅱ	1後		1						1	
		化学基礎演習Ⅰ	1前		1						1	
		化学基礎演習Ⅱ	1後		1						1	
		英語基礎演習Ⅰ	1前		1						2	
		英語基礎演習Ⅱ	1後		1						2	
	共通	環境創造工学概論Ⅰ	1前	2			5	5				1
		環境創造工学概論Ⅱ	1後	2			5	5				0
		コミュニケーションスキル	3後		2							1
		応用数学	2前		2							1
		確率統計学	2前		2							1
		情報処理Ⅰ	2前		2							1
		情報処理Ⅱ	2後		2							1
		環境計測学	2後		2		1	2				
		測量学	3前		2			1				
		測量学実習	3後		2			2				2
		地域環境調査実習Ⅰ	2前		1		5	5				
地域環境調査実習Ⅱ	2後		1		5	5						
環境創造工学実験Ⅰ	3前		2		3	1						
環境創造工学実験Ⅱ	3後		2			4						
エネルギー・資源循環	エネルギー環境論	1後		2			1					
	省エネルギー学	2前		2			1					
	エネルギー管理工学	2後		2			1					
	環境エネルギー変換工学	3前		2			1					
	エネルギープロセスシステム設計	3後		2			1					
	再生可能エネルギー工学	3後		2		1						
	化学工学	2前		2		1						
	有機材料工学	2後		2		1						
	無機材料合成工学	3前		2		1						
	分離精製工学	3後		2		1						
	環境材料学	2前		2		1						
	材料リサイクル	2後		2		1						
	資源循環学	3前		2		1						
	環境配慮創造設計学	3後		2		1						
	環境保全学	2前		2			1					
	環境分析学	2後		2			1					
	水環境工学	3前		2			1					
水処理学	3後		2			1						
環境共生	基礎生態学	2前		2		1						
	環境生態工学	2後		2		1						
	環境アセスメント	3前		2		1						
	環境共生創造論	3後		2							1	
	流れ工学	2後		2		1					2	
	環境気象学	3前		2			1					
	環境リモートセンシング	3後		2			1					
土壌地下水汚染学	3後		2			1						
人間活動環境	デザイン図法	1後		2		2					3	
	住環境創造設計学	2前		2		2						
	居住環境創造設計学Ⅰ	2後		2		2					3	
	居住環境創造設計学Ⅱ	3前		2		2					2	
	空間創造学	2前		2							1	
	環境文化論	2後		2		1						
	アーバンデザイン	3前		3		1						
	環境マネジメント	3後		2		1						
	快適性創造学Ⅰ	2前		2		1					1	
	快適性創造学Ⅱ	2後		2		1					1	
環境創造設備学Ⅰ	3前		2		1							

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
専門教育部門	理工学基礎科目	コンピューターリテラシー	1前	2								2	
		数学基礎演習Ⅰ	1前		1							5	
		数学基礎演習Ⅱ	1後		1							5	
		物理学基礎演習Ⅰ	1前		1							1	
		物理学基礎演習Ⅱ	1後		1							1	
		化学基礎演習Ⅰ	1前		1							1	
		化学基礎演習Ⅱ	1後		1							1	
		英語基礎演習Ⅰ	1前		1							3	
		英語基礎演習Ⅱ	1後		1							3	
	共通	環境創造工学概論Ⅰ	1前	2			3	5					1
		環境創造工学概論Ⅱ	1後	2			4	5					0
		コミュニケーションスキル	3後		2								1
		応用数学	2前		2								1
		確率統計学	2前		2								1
		情報処理Ⅰ	2前		2								1
		情報処理Ⅱ	2後		2								1
		環境計測学	2後		2			1	2				
		測量学	3前		2				1				
		測量学実習	3後		2				2				
		地域環境調査実習Ⅰ	2前		1			3	5				
地域環境調査実習Ⅱ	2後		1			4	5						
環境創造工学実験Ⅰ	3前		2			3	1						
環境創造工学実験Ⅱ	3後		2				4						
エネルギー・資源循環	エネルギー環境論	1後		2									
	省エネルギー学	2前		2									
	エネルギー管理工学	2後		2									
	環境エネルギー変換工学	3前		2									
	エネルギープロセスシステム設計	3後		2									
	再生可能エネルギー工学	3後		2			1						
	化学工学	2前		2			1						
	有機材料工学	2後		2			1						
	無機材料合成工学	3前		2			1						
	分離精製工学	3後		2			1						
	環境材料学	2前		2			1						
	材料リサイクル	2後		2			1						
	資源循環学	3前		2			1						
	環境配慮創造設計学	3後		2			1						
	環境保全学	2前		2						1			
	環境分析学	2後		2						1			
	水環境工学	3前		2						1			
水処理学	3後		2						1				
環境共生	基礎生態学	2前		2			1						
	環境生態工学	2後		2			1						
	環境アセスメント	3前		2			1						
	環境共生創造論	3後		2								1	
	流れ工学	2後		2						1		2	
	環境気象学	3前		2						1			
	環境リモートセンシング	3後		2						1			
土壌地下水汚染学	3後		2						1				
人間活動環境	デザイン図法	1後		2								4	
	住環境創造設計学	2前		2								2	
	居住環境創造設計学Ⅰ	2後		2								4	
	居住環境創造設計学Ⅱ	3前		2								2	
	空間創造学	2前		2								1	
	環境文化論	2後		2						1			
	アーバンデザイン	3前		3						1			
	環境マネジメント	3後		2						0			
	快適性創造学Ⅰ	2前		2						0		1	
	快適性創造学Ⅱ	2後		2						0		1	
環境創造設備学Ⅰ	3前		2						0				

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育部門	人間活動環境	環境創造設備学Ⅱ	3後	2		1						
		材料力学	2前	2			1					
		構造力学Ⅰ	2後	2			1					
		構造力学Ⅱ	3前	2			1					
		環境構造設計法	3後	3		1						
		建設施工学	3後	2								1
		建設法規	3後	2								1
	共通	環境倫理	1後	2		0						1
		環境法	3前	2								1
		インターンシップ	3前	1		1						
	ゼミナール	3後	2		5	5						
	卒業研究・卒業制作	4通	4		5	5						
	小計(93科目)	-	10	153	8	6	5	0	0	0	55	
	合計(131科目)	-	10	205	8	6	5	0	0	0	112	

卒業要件及び履修方法

必修科目10単位、総合基礎部門の選択科目から20単位以上、専門教育部門の選択科目から94単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：49単位(年間))

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育部門	人間活動環境	環境創造設備学Ⅱ	3後	2		0						
		材料力学	2前	2			1					
		構造力学Ⅰ	2後	2			1					
		構造力学Ⅱ	3前	2			1					
		環境構造設計法	3後	3		1						
		建設施工学	3後	2								1
		建設法規	3後	2								1
	共通	環境倫理	1後	2		0						1
		環境法	3前	2								1
		インターンシップ	3前	1		1						
	ゼミナール	3後	2		4	5						
	卒業研究・卒業制作	4通	4		4	5						
	小計(93科目)	-	10	153	8	4	5	0	0	0	75	
	合計(131科目)	-	10	205	8	4	5	0	0	0	132	

卒業要件及び履修方法

必修科目10単位、総合基礎部門の選択科目から20単位以上、専門教育部門の選択科目から94単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：49単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- 開講クラス数の変更により、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・ 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼任教員を「5」から「4」に変更。
 - ・ 「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」の兼任・兼任教員を「6」から「5」に変更。
 - ・ 「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」の兼任・兼任教員を「3」から「2」に変更。
 - ・ 「社会科学基礎Ⅰ」「社会科学基礎Ⅱ」の兼任・兼任教員を「2」から「3」に変更。
 - ・ 「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」の兼任・兼任教員を「4」から「2」に変更。
 - ・ 「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」の兼任・兼任教員を「5」から「2」に変更。
 - ・ 「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」の兼任・兼任教員を「7」から「1」に変更。
 - ・ 「物理学演習」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
- 教育効果向上のため、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・ 「基礎ゼミナールⅠ」の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「0」から「2」に変更。
 - ・ 「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「0」から「2」に変更。
- 時間割編成の都合により、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・ 「基礎ゼミナールⅠ」の兼任・兼任教員を「17」から「16」に変更。
 - ・ 「基礎ゼミナールⅡ」の兼任・兼任教員を「16」から「15」に変更。
 - ・ 「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」の兼任・兼任教員を「1」から「2」に変更。
 - ・ 「数学基礎演習Ⅰ」「数学基礎演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を「6」から「5」に変更。
 - ・ 「環境創造工学概論Ⅰ」の専任教員等のうち、教授を「4」から「5」に、兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
 - ・ 「環境創造工学概論Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「4」から「5」に、兼任・兼任教員を「2」から「0」に変更。
 - ・ 「環境倫理」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。

【令和3年度】

- 時間割編成の都合により、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・「基礎ゼミナールⅠ」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、兼任・兼任教員を「16」から「17」に変更。
 - ・「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等のうち、准教授を「2」から「1」に変更。
 - ・「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」の兼任・兼任教員を「4」から「5」に変更。
 - ・「理工学概論」の専任教員等のうち、教授を「3」から「1」に、准教授を「2」から「0」に、兼任・兼任教員を「10」から「13」に変更。
 - ・「技術者倫理」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
 - ・「英語基礎演習Ⅰ」「英語基礎演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を「2」から「3」に変更。
 - ・「環境創造工学概論Ⅰ」の専任教員等のうち、教授を「5」から「3」に変更。
 - ・「環境創造工学概論Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「5」から「4」に変更。
 - ・「地域環境調査実習Ⅰ」の専任教員等のうち、教授を「5」から「3」に変更。
 - ・「地域環境調査実習Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「5」から「4」に変更。
 - ・「流れ工学」の兼任・兼任教員を「0」から「2」に変更。
 - ・「デザイン図法」の専任教員等のうち、教授を「2」から「1」に、兼任・兼任教員を「3」から「4」に変更。
 - ・「住環境創造設計学」の専任教員等のうち、教授を「2」から「0」に、兼任・兼任教員を「0」から「2」に変更。
 - ・「居住環境創造設計学Ⅰ」の専任教員等のうち、教授を「2」から「1」に、兼任・兼任教員を「3」から「4」に変更。
 - ・「快適性創造学Ⅰ」「快適性創造学Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。
 - ・「ゼミナール」の専任教員等のうち、教授を「5」から「4」に変更。
 - ・「卒業研究・卒業制作」の専任教員等のうち、教授を「5」から「4」に、兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。
- 開講クラス数の変更により、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼任教員を「4」から「5」に変更。
 - ・「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」の兼任・兼任教員を「5」から「6」に変更。
 - ・「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」の兼任・兼任教員を「2」から「3」に変更。
 - ・「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」の兼任・兼任教員を「2」から「4」に変更。
 - ・「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」の兼任・兼任教員を「2」から「5」に変更。
 - ・「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」の兼任・兼任教員を「1」から「7」に変更。
 - ・「物理学演習」の兼任・兼任教員を「1」から「2」に変更。
- 採用予定教員の就任辞退により、以下のとおり令和4年度以降開講科目の教員配置を変更。
 - ・「居住環境創造設計学Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「2」から「1」に変更。
 - ・「環境マネジメント」「環境創造設備学Ⅰ」「環境創造設備学Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に変更。

【令和4年度】

- 学則改正により、以下のとおり科目を追加。
 - ・専門教育部門の理工学基礎科目に「データサイエンス・AI入門」を追加。
 - 時間割編成の都合により、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・「基礎ゼミナールⅠ」の兼任・兼任教員を「17」から「20」に変更。
 - ・「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、兼任・兼任教員を「15」から「16」に変更。
 - ・「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」の兼任・兼任教員を「4」から「3」に変更。
 - ・「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」の兼任・兼任教員を「5」から「3」に変更。
 - ・「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」の兼任・兼任教員を「5」から「4」に変更。
 - ・「理工学概論」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、准教授を「0」から「1」に、兼任・兼任教員を「13」から「14」に変更。
 - ・「数学基礎演習Ⅰ」「数学基礎演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を「5」から「3」に変更。
 - ・「環境創造工学概論Ⅰ」の専任教員等のうち、教授を「3」から「5」に、准教授を「5」から「4」に変更。
 - ・「環境創造工学概論Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「4」から「5」に変更。
 - ・「環境計測学」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、准教授を「2」から「1」に変更。
 - ・「測量学」の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「1」から「0」に変更。
 - ・「測量学実習」の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「2」から「1」に変更。
 - ・「地域環境調査実習Ⅰ」の専任教員等のうち、教授を「3」から「4」に変更。
 - ・「地域環境調査実習Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「4」から「3」に、准教授を「5」から「4」に変更。
 - ・「環境創造工学実験Ⅱ」の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「4」から「3」に変更。
 - ・「再生可能エネルギー工学」の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、准教授を「0」から「1」に、兼任・兼任教員を「0」から「2」に変更。
 - 無機材料合成工学の兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。
 - 分離精製工学の兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。
 - 環境配慮創造設計学の兼任・兼任教員を「0」から「3」に変更。
 - 環境共生創造論の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
 - 流れ工学の専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に変更。
 - 土壌地下汚染学の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に、准教授を「1」から「0」に変更。
 - 住環境創造設計学の専任教員等のうち、教授を「0」から「1」に変更。
 - 居住環境創造設計学Ⅰの兼任・兼任教員を「4」から「5」に変更。
 - アーバンデザインの兼任・兼任教員を「0」から「5」に変更。
 - 環境マネジメントの専任教員等のうち、准教授を「0」から「1」に変更。
 - 環境創造設備学Ⅰ「環境創造設備学Ⅱ」の専任教員等のうち、准教授を「0」から「1」に変更。
 - 環境構造設計法の兼任・兼任教員を「0」から「1」に変更。
 - インターンシップの専任教員等のうち、教授を「1」から「0」に、准教授を「0」から「1」に変更。
 - ゼミナールの専任教員等のうち、教授を「4」から「5」に変更。
 - 卒業研究・卒業制作の専任教員等のうち、教授を「4」から「5」に変更。
- 開講クラス数の変更により、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・「心理学」の兼任・兼任教員を「3」から「2」に変更。
 - ・「ブラクティカル・イングリッシュⅠ」「ブラクティカル・イングリッシュⅡ」の兼任・兼任教員を「2」から「5」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	119 科目	8 科目	131 科目	4 科目 [0]	120 科目 [1]	8 科目 [0]	132 科目 [0]	2022年度から新規科目「データサイエンス・AI入門」を開講

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{131} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	寄宿舎（ラグビー部合宿所） 用地取得による増加（2） 算入校地見直しによる減少 （4）		
	校舎敷地	186,686.73㎡ 187,513.63㎡	0.00㎡	0.00㎡	186,686.73㎡ 187,513.63㎡			
	運動場用地	167,348.29㎡	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡			
	小 計	354,035.02㎡ 354,861.92㎡	0.00㎡	0.00㎡	354,035.02㎡ 354,861.92㎡			
	そ の 他	129,184.42㎡ 130,165.60㎡ 129,642.60㎡	0.00㎡	0.00㎡	129,184.42㎡ 130,165.60㎡ 129,642.60㎡			
	合 計	483,184.42㎡ 485,027.52㎡ 484,504.52㎡	0.00㎡	0.00㎡	483,184.42㎡ 485,027.52㎡ 484,504.52㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建物建て替え（建設及び取壊し）による減少（2） 面積再測定に伴う変更（3） 建物建て替え（建設及び取壊し）及び面積再測定に伴う変更（4）			
	241,646.20㎡ 242,001.83㎡ 242,340.06㎡ 244,223.45㎡ (248,832.76㎡) (232,775.42㎡) (232,771.09㎡) (234,668.04㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	241,646.20㎡ 242,001.83㎡ 242,340.06㎡ 244,223.45㎡ (248,832.76㎡) (232,775.42㎡) (232,771.09㎡) (234,668.04㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 建物建設による室数の増加 （2） 採用状況並びに業務委託先 の変更による補助職員数の変更 （2） 運用実態の精査に伴う室数の 変更（3） 教育効果向上並びにコロナ禍 における採用計画の見直しに 伴う補助職員数の変更（3） 建物建設及び運用実態の精査 に伴う室数の変更（4）		
	154室 148室 141室	162室 164室 162室 148室	362室 261室 262室 271室	24室 17 13 (補助職員11人)	5室 6 4 (補助職員6人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員1名が就任辞退のため （3） 専任教員1名が就任のため （4）		
	理工学部 環境創造工学科		10 9 10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	視聴覚資料は学部単位での 特定不能なため、大学全体の数 大学全体 図書 1,229,151 [385,930] 1,196,810 [379,956] 1,194,531 [379,070] 学術雑誌 20,843 [20,003] 21,926 [21,610] 17,668 [16,878] 電子ジャーナル 19,602 [19,577] 21,139 [21,123] 16,382 [16,375] 機械・器具 824 294 720 711 整備計画変更等による図書、 学術雑誌、電子ジャーナル、機 械・器具及び標本の変更 （2） 集計方法の見直しに伴う学術 雑誌、電子ジャーナルの変更 （3） 整備計画変更等による図書、 視聴覚資料の変更（3） 整備計画変更に伴う図書、学 術雑誌、視聴覚資料の変更 （4） 集計方法の見直しに伴う電子 ジャーナルの変更（4） 新規取得に伴う機械・器具の 変更（4） 除却に伴う標本の変更（4）
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	点	点	点			
	理工学部 環境創造工学科	109,849 [17,287] 108,676 [17,268] 106,575 [17,165] 106,185 [17,162]	8,892 [8,671] 10,891 [10,779] 8,923 [8,826] 13,166 [13,068]	8,692 [8,671] 10,698 [10,691] 8,761 [8,755] 12,998 [12,992]	30,652 29,168 28,672 28,739	3,843 3,980 4,592 4,677	18 20 25 47	
計	109,849 [17,287] 108,676 [17,268] 106,575 [17,165] 106,185 [17,162]	8,892 [8,671] 10,891 [10,779] 8,923 [8,826] 13,166 [13,068]	8,692 [8,671] 10,698 [10,691] 8,761 [8,755] 12,998 [12,992]	30,652 29,168 28,672 28,739	(3,565) (3,467) (3,839) (3,942)	(16) (17) (22) (44)		

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	15,504.27㎡		1,476 1,712		1,575,305		感染症対策としての座席配置見直しに伴う閲覧座席数の変更。(4)		
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	8,345.18㎡		ブルテニスコート						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体	
		教員1人当り研究費等	478千円	478千円	図書購入費	53,991千円 2,278千円 13,840千円	33,522千円 13,840千円	35,276千円 33,522千円 13,840千円	実績値算出に伴う図書購入費及び設備購入費の変更(2) 予算変更に伴う共同研究費等の変更(2) 算出方法の誤りによる図書購入費及び設備購入費の変更。開設前年度は決算数値に変更。(3) 予算変更に伴う共同研究費等の変更(3) 予算変更に伴う共同研究費等、図書購入費、設備購入費の変更(4)
		共同研究費等	30,149千円 29,548千円 30,565千円	40,303千円 30,149千円 29,548千円 30,565千円	設備購入費	406,710千円 85,752千円 65,510千円	321,023千円 65,510千円	245,469千円 321,023千円 65,510千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料・雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学						学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度		所在地
法学部		年	人	年次人	人		倍	倍		年度	年度	
法学部			400	-	1,600		1.02	1.05				
法学科	4	400	-	1,600	学士(法学)	1.02	1.05	-	平成11	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	平成28年度学生募集停止	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	-	-	平成11			
経営学部			310	-	1,240		1.06	1.14				
経営学科	4	215	-	860	学士(経営学)	1.08	1.22	-	平成12	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地		
国際経営学科	4	95	-	380	学士(経営学)	1.02	0.95	-	平成12			
経済学部			310	-	1,240		1.02	1.05				
経済学科	4	210	-	840	学士(経済学)	1.02	1.07	-	平成12	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地		
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.05	1.02	-	平成12			
理工学部			1,035	-	4,590		1.02	1.06				
数学科	4	90	-	360	学士(理学)	0.96	0.86	-	平成12	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	令和4年度学生募集停止	
情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成16			
電気電子工学科	4	150	-	600	学士(工学)	1.03	1.00	-	平成12			
材料機能工学科	4	80	-	320	学士(工学)	0.99	1.10	-	平成12			
応用化学科	4	70	-	280	学士(工学)	1.01	1.21	-	平成25			
機械工学科	4	125	-	500	学士(工学)	1.02	1.17	-	平成12			
交通機械工学科	4	125	-	500	学士(工学)	1.07	1.21	-	平成12			
メカトロニクス工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.06	1.06	-	平成25			
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.02	1.13	-	平成12			
環境創造学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成12			
環境創造工学科	4	80	-	240	学士(工学)	0.92	0.80	-	令和2	令和2年度学生募集停止		
建築学科	4	145	-	580	学士(工学)	1.03	1.07	-	平成12			
農学部			330	-	1,320		1.04	1.16				
生物資源学科	4	110	-	440	学士(農学)	1.05	1.26	-	平成11	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地		
応用生物化学科	4	110	-	440	学士(農学)	1.01	1.03	-	平成11			
生物環境科学科	4	110	-	440	学士(農学)	1.06	1.20	-	平成17			
薬学部			265	-	1,590		1.04	1.04				
薬学科(6年制)	6	265	-	1,590	学士(薬学)	1.04	1.04	平成29	平成18	愛知県名古屋市天白区八事山150番地	平成29年度入学定員変更(250名→265名)	
都市情報学部			235	-	895		1.02	1.05				
都市情報学科	4	235	-	895	学士(都市情報学)	1.02	1.05	令和4	平成7	愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	令和4年度入学定員変更(220名→235名)	
人間学部			220	-	880		1.03	1.05				
人間学科	4	220	-	880	学士(人間学)	1.03	1.05	-	平成15	愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
外国語学部 国際英語学科	4	130	-	520	学士(外国語学)	1.02	1.06	-	平成28	愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	
情報工学部 情報工学科	4	180	-	180	学士(工学)	1.04	1.04	-	令和4	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
大学全体	-	3,415	-	14,055	-	-	1.07	-	-		

大学の名称	名城大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
法学研究科 法学専攻 修士課程 博士後期課程	2 3	6 2	- -	21 18	修士(法学) 博士(法学)	0.33 0.25	0.33 0.50	- -	昭和42 昭和44	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	令和4年度入学定員変更(15名→6名) 令和4年度入学定員変更(8名→2名)
経営学研究科 経営学専攻 修士課程 博士後期課程	2 3	10 3	- -	30 9	修士(経営学) 博士(経営学)	0.15 0.00	0.20 0.00	- -	平成13 平成15	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	令和4年度入学定員変更(20名→10名)
経済学研究科 経済学専攻 修士課程 博士後期課程	2 3	3 2	- -	13 8	修士(経済学) 博士(経済学)	0.50 0.11	1.00 0.00	- -	平成12 平成14	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	令和4年度入学定員変更(10名→3名) 令和4年度入学定員変更(3名→2名)
理工学研究科 数学専攻 博士前期課程 博士後期課程 情報工学専攻 修士課程 電気電子工学専攻 博士前期課程 材料機能工学専攻 修士課程 応用化学専攻 修士課程 機械工学専攻 修士課程 博士後期課程 交通機械工学専攻 修士課程	2 3 2 2 2 2 3 2	8 2 30 25 35 24 30 5 25	- - - - - - - - - - - - - - - -	16 6 60 50 70 48 60 15 50	修士(理学) 博士(理学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 博士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 博士(工学) 修士(工学)	0.62 0.00 0.84 1.48 0.94 0.56 1.21 0.26 0.60	0.62 0.00 0.83 1.68 0.88 0.83 1.33 0.60 0.72	- - - - - - - - - - - - - - - -	平成14 平成7 平成14 平成14 平成14 平成29 平成14 平成4 平成14	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
理工学研究科 メカトロニクス工学専攻 修士課程	2	24	-	48	修士(工学)	1.20	1.54	-	平成29	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
社会基盤デザイン工学専攻 修士課程	2	18	-	36	修士(工学)	0.49	0.44	-	平成14		
環境創造学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士(工学)	0.50	0.50	-	平成14		
建築学専攻 修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.62	0.56	-	平成14		
電気・情報・材料・物質工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士(工学)	0.13	0.10	-	平成5		
社会環境デザイン工学専攻 博士課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.46	0.60	-	平成4		
農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士(農学)	1.82	2.00	-	昭和48	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
博士後期課程	3	3	-	13	博士(農学)	0.33	1.00	-	昭和51		令和4年度入学定員 変更(5名→3名)
薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士(薬学)	1.06	1.00	-	平成24	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地	
都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	6	-	14	修士(都市情報学)	0.31	0.50	-	平成11	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9	令和4年度入学定員 変更(8名→6名)
博士後期課程	3	3	-	11	博士(都市情報学)	0.19	0.33	-	平成13		令和4年度入学定員 変更(4名→3名)
人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	5	-	13	修士(人間学)	0.16	0.20	-	平成23	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9	令和4年度入学定員 変更(8名→5名)
総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士(学術)	0.00	0.00	-	平成14	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
博士後期課程	3	4	-	12	博士(学術)	0.08	0.00	-	平成14		
大学院全体	-	344	-	786	-	-	0.88	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	大西 良博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数 I
兼任	教授	土屋 文 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学 I 物理学 II 理工学概論※
兼任	教授	坂東 俊治 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学 I 物理学 II
兼任	教授	中山 章宏 <令和2年4月> 理学博士	物理学実験 I 物理学実験 II
兼任	教授	田中 義人 <令和2年4月> 博士(理学)	化学実験 I 化学実験 II
兼任	准教授	齊藤 毅 <令和2年4月> 博士(理学)	地学 I 地学 II 地学実験 I 地学実験 II
兼任	教授	小高 猛司 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	平松 美根男 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	永田 央 <令和2年4月> 博士(理学)	理工学概論※
兼任	教授	古川 裕之 <令和2年4月> 博士(学術)	理工学概論※
兼任	教授	加鳥 裕明 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	井上 真澄 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	岡田 恭明 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	小澤 哲也 <令和2年4月> Doctorat de 3ème Cycle (仏国)	数学基礎演習 II

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	大西 良博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数 I
兼任	教授	土屋 文 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学 I 物理学 II 理工学概論※
兼任	教授	坂東 俊治 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学 I 物理学 II
兼任	教授	中山 章宏 <令和2年4月> 理学博士	物理学実験 I 物理学実験 II
兼任	教授	田中 義人 <令和2年4月> 博士(理学)	化学実験 I 化学実験 II 化学 I 化学 II
兼任	准教授	齊藤 毅 <令和2年4月> 博士(理学)	地学 I 地学 II 地学実験 I 地学実験 II
兼任	教授	小高 猛司 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	平松 美根男 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	永田 央 <令和2年4月> 博士(理学)	理工学概論※
兼任	教授	古川 裕之 <令和2年4月> 博士(学術)	理工学概論※
兼任	教授	加鳥 裕明 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	井上 真澄 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	岡田 恭明 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	小澤 哲也 <令和2年4月> Doctorat de 3ème Cycle (仏国)	数学基礎演習 II
兼任	教授	板橋 一雄 <令和2年4月> 工学博士	基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	大西 良博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数 I 線分積分 I
兼任	教授	土屋 文 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学 I 物理学 II 理工学概論※
兼任	教授	坂東 俊治 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学 I 物理学 II 理工学概論※
兼任	教授	中山 章宏 <令和2年4月> 理学博士	物理学実験 I 物理学実験 II 理工学概論※
兼任	教授	田中 義人 <令和2年4月> 博士(理学)	化学実験 I 化学実験 II 化学 I 化学 II
兼任	准教授	齊藤 毅 <令和2年4月> 博士(理学)	地学 I 地学 II 地学実験 I 地学実験 II
兼任	教授	小高 猛司 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	平松 美根男 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	永田 央 <令和2年4月> 博士(理学)	理工学概論※
兼任	教授	古川 裕之 <令和2年4月> 博士(学術)	理工学概論※
兼任	教授	加鳥 裕明 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	井上 真澄 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	岡田 恭明 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	小澤 哲也 <令和2年4月> Doctorat de 3ème Cycle (仏国)	数学基礎演習 I 数学基礎演習 II
兼任	教授	板橋 一雄 <令和2年4月> 工学博士	基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	大西 良博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数 I 線分積分 I
兼任	教授	土屋 文 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学 I 物理学 II 理工学概論※ 再生可能エネルギー工学
兼任	教授	坂東 俊治 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学 I 物理学 II 理工学概論※
兼任	教授	中山 章宏 <令和2年4月> 理学博士	物理学実験 I 物理学実験 II 理工学概論※
兼任	教授	田中 義人 <令和2年4月> 博士(理学)	化学実験 I 化学実験 II 化学 I 化学 II
兼任	准教授	齊藤 毅 <令和2年4月> 博士(理学)	地学 I 地学 II 地学実験 I 地学実験 II
兼任	教授	小高 猛司 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	平松 美根男 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	永田 央 <令和2年4月> 博士(理学)	理工学概論※
兼任	教授	古川 裕之 <令和2年4月> 博士(学術)	理工学概論※
兼任	教授	加鳥 裕明 <令和2年4月> 博士(工学)	理工学概論※
兼任	教授	井上 真澄 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	岡田 恭明 <令和2年4月> 工学博士	理工学概論※
兼任	教授	小澤 哲也 <令和2年4月> Doctorat de 3ème Cycle (仏国)	数学基礎演習 I 数学基礎演習 II
兼任	教授	板橋 一雄 <令和2年4月> 工学博士	基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河津 邦喜 <令和2年4月> 文学修士	人文科学基礎 I 人文科学基礎 II
兼任	講師	早坂 泰行 <令和2年4月> 修士(歴史学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	齋藤 滋 <令和2年4月> 博士(文学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	本村 耐樹 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	竹野 富之 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	欧米文化論 I 欧米文化論 II
兼任	講師	賀茂 道子 <令和4年4月> 博士(法学)	国際関係論
兼任	講師	緑川 幸成 <令和4年4月> 文学修士	文学
兼任	講師	日比 拓也 <令和4年4月> 修士(法)	日本国憲法
兼任	講師	川中 達治 <令和4年4月> 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	濱家 徳子 <令和4年4月> 修士(心理学)	心理学
兼任	講師	鷺津 秀樹 <令和4年4月> 経営学士	心理学
兼任	講師	重村 正之 <令和4年4月> 文学修士	心理学
兼任	講師	安部 則男 <令和4年4月> 工学修士	職業指導論
兼任	講師	堀田 耕作 <令和2年4月> 理学博士	微積分 I 微積分 II
兼任	講師	岡 智美 <令和2年4月> 博士(理学)	微積分 I 微積分 II 数学基礎演習 I 数学基礎演習 II

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河津 邦喜 <令和2年4月> 文学修士	人文科学基礎 I 人文科学基礎 II
兼任	講師	早坂 泰行 <令和2年4月> 修士(歴史学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	齋藤 滋 <令和2年4月> 博士(文学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	本村 耐樹 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	竹野 富之 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	欧米文化論 I 欧米文化論 II
兼任	講師	賀茂 道子 <令和4年4月> 博士(法学)	国際関係論
兼任	講師	緑川 幸成 <令和4年4月> 文学修士	文学
兼任	講師	日比 拓也 <令和4年4月> 修士(法)	日本国憲法
兼任	講師	川中 達治 <令和4年4月> 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	濱家 徳子 <令和4年4月> 修士(心理学)	心理学
兼任	講師	鷺津 秀樹 <令和4年4月> 経営学士	心理学
兼任	講師	重村 正之 <令和4年4月> 文学修士	心理学
兼任	講師	安部 則男 <令和4年4月> 工学修士	職業指導論
兼任	講師	堀田 耕作 <令和2年4月> 理学博士	微積分 I 微積分 II
兼任	講師	岡 智美 <令和2年4月> 博士(理学)	微積分 I 微積分 II 数学基礎演習 I 数学基礎演習 II

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河津 邦喜 <令和2年4月> 文学修士	人文科学基礎 I 人文科学基礎 II
兼任	講師	早坂 泰行 <令和2年4月> 修士(歴史学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	齋藤 滋 <令和2年4月> 博士(文学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	本村 耐樹 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	竹野 富之 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	欧米文化論 I 欧米文化論 II
兼任	講師	賀茂 道子 <令和4年4月> 博士(法学)	国際関係論
兼任	講師	緑川 幸成 <令和4年4月> 文学修士	文学
兼任	講師	日比 拓也 <令和4年4月> 修士(法)	日本国憲法
兼任	講師	川中 達治 <令和4年4月> 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	濱家 徳子 <令和4年4月> 修士(心理学)	心理学
兼任	講師	鷺津 秀樹 <令和4年4月> 経営学士	心理学
兼任	講師	重村 正之 <令和4年4月> 文学修士	心理学
兼任	講師	安部 則男 <令和4年4月> 工学修士	職業指導論
兼任	講師	堀田 耕作 <令和2年4月> 理学博士	微積分 I 微積分 II
兼任	講師	岡 智美 <令和2年4月> 博士(理学)	微積分 I 微積分 II 数学基礎演習 I 数学基礎演習 II

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河津 邦喜 <令和2年4月> 文学修士	人文科学基礎 I 人文科学基礎 II
兼任	講師	早坂 泰行 <令和2年4月> 修士(歴史学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	齋藤 滋 <令和2年4月> 博士(文学)	社会科学基礎 I 社会科学基礎 II
兼任	講師	本村 耐樹 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	竹野 富之 <令和3年4月> 博士(文学)	アジア文化論 I アジア文化論 II
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	欧米文化論 I 欧米文化論 II
兼任	講師	賀茂 道子 <令和4年4月> 博士(法学)	国際関係論
兼任	講師	緑川 幸成 <令和4年4月> 文学修士	文学
兼任	講師	日比 拓也 <令和4年4月> 修士(法)	日本国憲法
兼任	講師	川中 達治 <令和4年4月> 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	濱家 徳子 <令和4年4月> 修士(心理学)	心理学
兼任	講師	鷺津 秀樹 <令和4年4月> 経営学士	心理学
兼任	講師	重村 正之 <令和4年4月> 文学修士	心理学
兼任	講師	安部 則男 <令和4年4月> 工学修士	職業指導論
兼任	講師	堀田 耕作 <令和2年4月> 理学博士	微積分 I 微積分 II
兼任	講師	岡 智美 <令和2年4月> 博士(理学)	微積分 I 微積分 II 数学基礎演習 I 数学基礎演習 II

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	講師	松添 博 <令和2年4月> 博士(情報科学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	片岡 紀智 <令和2年4月> 博士(数理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	北河 一生 <令和2年4月> 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松本 拓也 <令和2年4月> 博士(理学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	佐藤 俊郎 <令和2年4月> 理学博士
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	片岡 啓介 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習
兼任	講師	鏡 裕行 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	富田 寿代 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	中野 拓哉 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	村手 宏隆 <令和2年4月> 工学博士
		化学Ⅰ 化学Ⅱ
兼任	講師	居川 信之 <令和2年4月> 理学修士
		地学実験Ⅰ
兼任	講師	市原 俊 <令和2年4月> 修士(学術)
		地学実験Ⅱ
兼任	講師	寺野 ひろ実 <令和2年4月> 修士(生活環境)
		生物学 生物学実験
兼任	講師	大野 波矢登 <令和3年4月> 修士(文学)
		技術者倫理
兼任	講師	丹羽 淳一 <令和2年4月> 法学士
		コンピューターリテラシー 情報処理Ⅰ

安田 倫代

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	講師	松添 博 <令和2年4月> 博士(情報科学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	片岡 紀智 <令和2年4月> 博士(数理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	北河 一生 <令和2年4月> 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松本 拓也 <令和2年4月> 博士(理学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	佐藤 俊郎 <令和2年4月> 理学博士
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	片岡 啓介 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習
兼任	講師	鏡 裕行 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	富田 寿代 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	中野 拓哉 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	村手 宏隆 <令和2年4月> 工学博士
		化学Ⅰ 化学Ⅱ
兼任	講師	居川 信之 <令和2年4月> 理学修士
		地学実験Ⅰ 地学Ⅱ
兼任	講師	市原 俊 <令和2年4月> 修士(学術)
		地学実験Ⅱ
兼任	講師	寺野 ひろ実 <令和2年4月> 修士(生活環境)
		生物学 生物学実験
兼任	講師	大野 波矢登 <令和3年4月> 修士(文学)
		技術者倫理 環境倫理
兼任	講師	丹羽 淳一 <令和2年4月> 法学士
		コンピューターリテラシー 情報処理Ⅰ

安田 倫代

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	講師	松添 博 <令和2年4月> 博士(情報科学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	片岡 紀智 <令和2年4月> 博士(数理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	北河 一生 <令和2年4月> 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松本 拓也 <令和2年4月> 博士(理学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	佐藤 俊郎 <令和2年4月> 理学博士
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	片岡 啓介 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習
兼任	講師	鏡 裕行 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	富田 寿代 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	中野 拓哉 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	村手 宏隆 <令和2年4月> 工学博士
		化学Ⅰ 化学Ⅱ
兼任	講師	居川 信之 <令和2年4月> 理学修士
		地学実験Ⅰ 地学Ⅱ
兼任	講師	市原 俊 <令和2年4月> 修士(学術)
		地学実験Ⅱ
兼任	講師	寺野 ひろ実 <令和2年4月> 修士(生活環境)
		生物学 生物学実験
兼任	講師	大野 波矢登 <令和3年4月> 修士(文学)
		技術者倫理 環境倫理
兼任	講師	丹羽 淳一 <令和2年4月> 法学士
		コンピューターリテラシー 情報処理Ⅰ

安田 倫代

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	講師	松添 博 <令和2年4月> 博士(情報科学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	片岡 紀智 <令和2年4月> 博士(数理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	北河 一生 <令和2年4月> 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	松本 拓也 <令和2年4月> 博士(理学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	佐藤 俊郎 <令和2年4月> 理学博士
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	片岡 啓介 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習
兼任	講師	鏡 裕行 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	富田 寿代 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	中野 拓哉 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	村手 宏隆 <令和2年4月> 工学博士
		化学Ⅰ 化学Ⅱ
兼任	講師	居川 信之 <令和2年4月> 理学修士
		地学実験Ⅰ 地学Ⅱ
兼任	講師	市原 俊 <令和2年4月> 修士(学術)
		地学実験Ⅱ
兼任	講師	寺野 ひろ実 <令和2年4月> 修士(生活環境)
		生物学 生物学実験
兼任	講師	大野 波矢登 <令和3年4月> 修士(文学)
		技術者倫理 環境倫理
兼任	講師	丹羽 淳一 <令和2年4月> 法学士
		コンピューターリテラシー 情報処理Ⅰ

安田 倫代

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	<令和2年4月> 経営短期大学士	コンピューターリテラシー
兼任	講師	大橋 美佐 <令和2年4月> 博士(理学)	数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	鈴木 智子 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学基礎演習Ⅰ 物理学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	大塚 辰夫 <令和2年4月> 修士(文学)	英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	村上 一夫 <令和2年4月> 工学修士	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	杉山 範子 <令和2年4月> 博士(環境学)	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	富樫 聡 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	石松 文佳 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	林 雅博 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	廣橋 淳 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	藤澤 徹 <令和2.4年4月> 博士(工学)	環境共生創造論
兼任	講師	岩田 剛彦 <令和2年4月> 修士(建築)	デザイン図法
兼任	講師	杉浦 清 <令和2年4月> 工学士	デザイン図法
兼任	講師	中島 規博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	曾田 一雄 <令和2年4月> 工学博士	物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	阿武木 啓朗 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	<令和2年4月> 経営短期大学士	コンピューターリテラシー
兼任	講師	大橋 美佐 <令和2年4月> 博士(理学)	数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	鈴木 智子 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学基礎演習Ⅰ 物理学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	大塚 辰夫 <令和2年4月> 修士(文学)	英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	村上 一夫 <令和2年4月> 工学修士	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	杉山 範子 <令和2年4月> 博士(環境学)	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	富樫 聡 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	石松 文佳 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	林 雅博 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	廣橋 淳 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	藤澤 徹 <令和2.4年4月> 博士(工学)	環境共生創造論
兼任	講師	岩田 剛彦 <令和2年4月> 修士(建築)	デザイン図法
兼任	講師	杉浦 清 <令和2年4月> 工学士	デザイン図法
兼任	講師	中島 規博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	曾田 一雄 <令和2年4月> 工学博士	物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	阿武木 啓朗 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	<令和2年4月> 経営短期大学士	コンピューターリテラシー
兼任	講師	大橋 美佐 <令和2年4月> 博士(理学)	数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	鈴木 智子 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学基礎演習Ⅰ 物理学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	大塚 辰夫 <令和2年4月> 修士(文学)	英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	村上 一夫 <令和2年4月> 工学修士	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	杉山 範子 <令和2年4月> 博士(環境学)	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	富樫 聡 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	石松 文佳 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	林 雅博 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	廣橋 淳 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	藤澤 徹 <令和2.4年4月> 博士(工学)	環境共生創造論
兼任	講師	岩田 剛彦 <令和2年4月> 修士(建築)	デザイン図法 住環境創造設計学 居住環境創造設計学Ⅰ
兼任	講師	杉浦 清 <令和2年4月> 工学士	デザイン図法
兼任	講師	中島 規博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	曾田 一雄 <令和2年4月> 工学博士	物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	阿武木 啓朗 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	<令和2年4月> 経営短期大学士	コンピューターリテラシー
兼任	講師	大橋 美佐 <令和2年4月> 博士(理学)	数学基礎演習Ⅰ 数学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	鈴木 智子 <令和2年4月> 博士(工学)	物理学基礎演習Ⅰ 物理学基礎演習Ⅱ
兼任	講師	大塚 辰夫 <令和2年4月> 修士(文学)	英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	村上 一夫 <令和2年4月> 工学修士	環境創造工学概論Ⅰ※ 環境構造設計法
兼任	講師	杉山 範子 <令和2年4月> 博士(環境学)	環境創造工学概論Ⅰ※
兼任	講師	富樫 聡 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	石松 文佳 <令和2年4月> 博士(工学)	環境創造工学概論Ⅱ※
兼任	講師	林 雅博 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	廣橋 淳 <令和2.4年4月> 工学士	測量学実習
兼任	講師	藤澤 徹 <令和2.4年4月> 博士(工学)	環境共生創造論
兼任	講師	岩田 剛彦 <令和2年4月> 修士(建築)	デザイン図法 住環境創造設計学 居住環境創造設計学Ⅰ アーバンデザイン
兼任	講師	杉浦 清 <令和2年4月> 工学士	デザイン図法
兼任	講師	中島 規博 <令和2年4月> 博士(理学)	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	曾田 一雄 <令和2年4月> 工学博士	物理学Ⅰ 物理学Ⅱ
兼任	講師	阿武木 啓朗 <令和2年4月> 博士(理学)	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半田 祥樹 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半田 祥樹 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	石原 達平 <令和3年4月> 修士(文学)
		人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ
兼任	講師	萩 三恵 <令和3年4月> 修士(文学)
		英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	近本 彬 <令和3年4月> 修士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	菅 博嗣 <令和3年4月> 修士(農学)
		デザイン図法 居住環境創造設計学Ⅰ
兼任	講師	原田 昌幸 <令和3年4月> 博士(工学)
		快適性創造学Ⅰ
兼任	講師	伊 達英 <令和3年4月> 博士(工学)
		快適性創造学Ⅱ
兼任	講師	河崎 泰了 <令和3年4月> 修士(工学)
		住環境創造設計学
兼任	講師	田坂 浩二 <令和3年4月> 博士(数理学)
		微分積分Ⅱ
兼任	講師	牛島 達夫 <令和3年4月> Ph.D(英国)
		流れ工学
兼任	講師	大堀 文彦 <令和3年4月> 修士(工学)
		流れ工学

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半田 祥樹 <令和2年4月> 博士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	石原 達平 <令和3年4月> 修士(文学)
		人文科学基礎Ⅰ 人文科学基礎Ⅱ
兼任	講師	萩 三恵 <令和3年4月> 修士(文学)
		英語基礎演習Ⅰ 英語基礎演習Ⅱ
兼任	講師	近本 彬 <令和3年4月> 修士(工学)
		物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ
兼任	講師	菅 博嗣 <令和3年4月> 修士(農学)
		デザイン図法 居住環境創造設計学Ⅰ アーバンデザイン
兼任	講師	原田 昌幸 <令和3年4月> 博士(工学)
		快適性創造学Ⅰ
兼任	講師	伊 達英 <令和3年4月> 博士(工学)
		快適性創造学Ⅱ
兼任	講師	河崎 泰了 <令和3年4月> 修士(工学)
		住環境創造設計学 アーバンデザイン
兼任	講師	田坂 浩二 <令和3年4月> 博士(数理学)
		微分積分Ⅱ
兼任	講師	牛島 達夫 <令和3年4月> Ph.D(英国)
		流れ工学
兼任	講師	大堀 文彦 <令和3年4月> 修士(工学)
		流れ工学
兼任	講師	HARRIS Richard <令和4年4月> 学士(教養)(米国)
		ブラクティカル・イングリッシュⅠ ブラクティカル・イングリッシュⅡ
兼任	講師	Joseph Sichi <令和4年4月> language acquisition修士(米国)
		ブラクティカル・イングリッシュⅠ ブラクティカル・イングリッシュⅡ
兼任	講師	MARSHALL Michael <令和4年4月> 学士(歴史学)(英国)
		ブラクティカル・イングリッシュⅠ ブラクティカル・イングリッシュⅡ
兼任	講師	Van Horn George <令和4年4月> 修士(文学)(米国)
		ブラクティカル・イングリッシュⅠ ブラクティカル・イングリッシュⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名
兼任 講師	岡本 修行 <令和4年4月> 修士(工学) アーバンデザイン 居住環境創造設計学 I
兼任 講師	柿島 新太郎 <令和4年4月> 修士(スポーツ科学) 体育科学Ⅲ
兼任 講師	鈴木 健二 <令和4年4月> 修士(工学) 環境配慮創造設計学
兼任 講師	高田 正義 <令和4年4月> 修士(体育学) 体育科学 I 体育科学 II
兼任 講師	山口 毅 <令和4年4月> 博士(理学) 無機材料合成工学
兼任 講師	山口 貴士 <令和4年4月> 修士(工学) 職業指導論
兼任 講師	山本 武志 <令和4年4月> 博士(工学) 環境配慮創造設計学
兼任 講師	神下 竜三 <令和4年4月> 学士(工学) 環境配慮創造設計学
兼任 講師	浅井 靖 <令和4年4月> 学士(工学) 建設施工学
兼任 講師	太田 和哉 <令和4年4月> 学士(農学) 測量学実習
兼任 講師	内田 雄介 <令和4年4月> 博士(医学) 体育科学 I 体育科学 II
兼任 講師	飯田 智徳 <令和4年4月> 修士(工学) アーバンデザイン 居住環境創造設計学 I
兼任 講師	平山 幹朗 <令和4年4月> 博士(工学) 分離精製工学
兼任 講師	林 靖郎 <令和4年4月> 学士(工学) 建設法規

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

【令和2年度】

- 教育効果向上のため、以下のとおり担当科目を変更。
 - 三宅克英教授に「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を追加。
 - 小塩達也准教授及び片桐誠之准教授に「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を追加。
- 時間割編成の都合により、以下のとおり担当科目を変更。
 - 三宅克英教授から「環境倫理」を削除。大野波矢登講師（兼任）に「環境倫理」を追加。
 - 吉村晶子教授に「環境創造工学概論Ⅰ」「環境創造工学概論Ⅱ」を追加。杉山範子講師（兼任）から「環境創造工学概論Ⅰ」を、富樫聡講師（兼任）及び石松文佳講師（兼任）から「環境創造工学概論Ⅱ」を削除。
 - 松村昌紀教授（兼任）、木岡一明教授（兼任）及び村瀬勇介准教授（兼任）から「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を削除。板橋一雄教授（兼任）及び吉久光一教授（兼任）に「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を追加。
 - 江尻典雄教授（兼任）から「微分積分Ⅱ」「数学基礎演習Ⅰ」を削除。土田哲生教授（兼任）に「微分積分Ⅱ」「数学基礎演習Ⅰ」を追加。
 - 大西良博教授（兼任）から「線形代数Ⅰ」を削除。
 - 田中義人教授（兼任）から「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」を削除。日比野隆教授（兼任）に「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」を追加。
 - 田中義人教授（兼任）に「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」を追加。村手宏隆講師（兼任）から「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」を削除。
 - 齊藤毅教授（兼任）から「地学Ⅱ」を削除。居川信之講師（兼任）に「地学Ⅱ」を追加。
 - 鍛冶俊輔准教授（兼任）から「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - 許斐豊准教授（兼任）から「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - 内村佳典助教（兼任）から「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」を削除。中島規博講師（兼任）に「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」を追加。
 - 本田真己助教（兼任）に「化学実験Ⅰ」「化学実験Ⅱ」を追加。
 - 松本拓也講師（兼任）から「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」を削除。曾田一雄講師（兼任）に「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」を追加。
 - 鏡裕行講師（兼任）及び中野拓哉講師（兼任）から「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を削除。阿武木啓朗講師（兼任）及び半田祥樹講師（兼任）に「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を追加。
- 開講クラス数の変更により、以下のとおり担当科目を変更。
 - 中村栄造教授（兼任）から「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を削除。
 - 江尻典雄教授（兼任）から「微分積分Ⅰ」を削除。
 - 橋本英哉教授（兼任）から「微分積分Ⅱ」を削除。
 - 土屋文教授（兼任）、坂東俊治教授（兼任）、小澤理樹准教授（兼任）、大久保敏之助教（兼任）、佐藤俊郎講師（兼任）及び片岡啓介講師（兼任）から「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」「物理学演習」を削除。
 - 日比野正樹准教授（兼任）から「線形代数Ⅱ」を削除。
 - 森口舞助教（兼任）に「社会科学基礎Ⅰ」「社会科学基礎Ⅱ」を追加。
 - 星揚一郎講師（兼任）から「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」を削除。
 - 内山明講師（兼任）から「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」を削除。
 - 岡智美講師（兼任）から「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」を削除。
 - 片岡紀智講師（兼任）及び北河一生講師（兼任）から「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」を削除。

【令和3年度】

- 教員人事に関連し、以下のとおり変更。
 - 定年退職のため、垣舘直教授及び江尻典雄教授（兼任）を削除。
 - 就任辞退のため、蔵澄美仁教授を削除。
 - 大知聖子助教（兼任）及び今井大地助教（兼任）が准教授に昇格。
- 時間割編成の都合により、以下のとおり担当科目を変更。
 - 三宅克英教授、吉村晶子教授、片桐誠之准教授及び武藤昌也准教授から「理工学概論」を削除。
 - 三宅克英教授から「基礎ゼミナールⅠ」を削除。
 - 小塩達也准教授から「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を削除。
 - 鈴木昌弘教授（兼任）及び板橋一雄教授（兼任）から「基礎ゼミナールⅡ」を削除。景山伯春教授（兼任）に「基礎ゼミナールⅡ」を追加。
 - 宮田喜久子准教授（兼任）に「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を追加。
 - 土田哲生教授（兼任）から「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」「数学基礎演習Ⅰ」を削除。
 - 大西良博教授（兼任）に「微分積分Ⅰ」を追加。
 - 土屋文教授（兼任）、小高猛司教授（兼任）、永田央教授（兼任）、古川裕之教授（兼任）、岡田恭明教授（兼任）、旭健作准教授（兼任）及び赤堀俊和准教授から「理工学概論」を削除。坂東俊治教授（兼任）、中山章宏教授（兼任）、渡辺孝一教授（兼任）、山本修身教授（兼任）、池本有准教授（兼任）、高井宏之教授（兼任）、吉久光一教授（兼任）、吉川雅弥教授（兼任）及び竹内哲也教授（兼任）に「理工学概論」を追加。
 - 本田真己助教（兼任）に「理工学概論」「化学基礎演習Ⅰ」「化学基礎演習Ⅱ」を追加。
 - 小澤理樹准教授（兼任）に「数学基礎演習Ⅰ」を追加し、「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - 榎本暁准教授（兼任）に「英語基礎演習Ⅰ」「英語基礎演習Ⅱ」を追加。
 - 景山伯春教授（兼任）から「化学基礎演習Ⅰ」「化学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - 劉蔚助手（兼任）に「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を追加。
 - 日比野正樹准教授（兼任）に「数学基礎演習Ⅱ」を追加。
 - 大知聖子准教授（兼任）から「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を削除。
 - 水沼洋人助教（兼任）から「技術者倫理」を削除。
 - 高部修講師（兼任）から「居住環境創造設計Ⅰ」を削除。
 - 秋元悦子講師（兼任）に「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を追加。
 - 佐藤啓介講師（兼任）から「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」を削除。石原遼平講師（兼任）に「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」を追加。
 - 大塚辰夫講師（兼任）から「英語基礎演習Ⅰ」「英語基礎演習Ⅱ」を削除。萩三恵講師（兼任）に「英語基礎演習Ⅰ」「英語基礎演習Ⅱ」を追加。
 - 岩田剛彦講師（兼任）に「住環境創造設計学」「居住環境創造設計学Ⅰ」を追加。
 - 菅博嗣講師（兼任）に「デザイン図法」「居住環境創造設計学Ⅰ」を追加。
 - 半田祥樹講師（兼任）から「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を削除。近本彬講師（兼任）に「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を追加。
 - 原田昌幸講師（兼任）に「快適性創造学Ⅰ」を追加。
 - 尹奎英講師（兼任）に「快適性創造学Ⅱ」を追加。
 - 河崎泰了講師（兼任）に「住環境創造設計学」を追加。
 - 田坂浩二講師（兼任）に「微分積分Ⅱ」を追加。
 - 牛島達夫講師（兼任）及び大塚文彦講師（兼任）に「流れ工学」を追加。
- 開講クラス数の変更により、以下のとおり担当科目を変更。
 - 中村栄造教授（兼任）に「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を追加。
 - 土田哲生教授（兼任）に「線形代数Ⅰ」を追加。
 - 柴田将敢准教授（兼任）に「微分積分Ⅰ」を追加。
 - 土屋文教授（兼任）、坂東俊治教授（兼任）、小澤理樹准教授（兼任）、大久保敏之助教（兼任）及び佐藤俊郎講師（兼任）に「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」を追加。
 - 片岡啓介講師（兼任）に「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」「物理学演習」を追加。
 - 鍛冶俊輔准教授（兼任）に「微分積分Ⅱ」を追加。
 - 許斐豊准教授（兼任）に「線形代数Ⅱ」を追加。
 - 星揚一郎講師（兼任）に「人文科学基礎Ⅰ」「人文科学基礎Ⅱ」を追加。
 - 内山明講師（兼任）に「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」を追加。
 - 岡智美講師（兼任）に「微分積分Ⅰ」「微分積分Ⅱ」を追加。
 - 片岡紀智講師（兼任）及び北河一生講師（兼任）に「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」を追加。
- 設置届出時または令和2年度報告時の記載誤りを以下のとおり変更。
 - 齊藤毅教授（兼任）の届出時からの職位を准教授（兼任）に修正。
 - 景山伯春准教授（兼任）の令和2年度報告時からの職位を教授（兼任）に修正。
 - 徳山友友講師（兼任）の学位取得国名を追加。
 - 林雅博講師（兼任）、廣橋淳講師（兼任）及び藤澤徹講師（兼任）の就任予定年月を修正。

【令和4年度】

- 教員人事に関連し、以下のとおり変更。
 - ・新規採用のため、深川健太准教授を追加。
 - ・定年退職のため、木岡一明教授（兼任）を削除。
 - ・自己都合退職のため、内田雄介准教授（兼任）を削除。
 - ・日比義彦准教授および大藏信之准教授（兼任）が教授に昇格。
 - ・本田真己助教（兼任）が准教授に昇格。
- 時間割編成の都合により、以下のとおり担当科目を変更。
 - ・三宅克典教授に「環境共生都市論」を追加し、「環境計測学」「流れ工学」「基礎ゼミナールⅡ」を削除。
 - ・西山桂教授から「インターンシップ」「理工学概論」「再生可能エネルギー工学」を削除。
 - ・吉村晶子教授、日比義彦教授、広瀬正史准教授から「地域環境調査実習Ⅱ」を削除。
 - ・吉村晶子教授に「住環境創造設計学」「環境創造工学概論Ⅰ」を追加。
 - ・小塩達也准教授に「インターンシップ」を追加。
 - ・武藤昌也准教授に「理工学概論」「再生可能エネルギー工学」を追加し、「環境創造工学概論Ⅰ」「環境計測学」を削除。
 - ・深川健太准教授に「環境創造工学概論Ⅰ」「環境創造工学概論Ⅱ」「地域環境調査実習Ⅰ」「地域環境調査実習Ⅱ」「ゼミナール」「環境マネジメント」「環境創造設備学Ⅰ」「環境創造設備学Ⅱ」「卒業研究・卒業制作」を追加。
 - ・長澤崇雄教授（兼任）から「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を削除。
 - ・中島公平教授（兼任）、清水憲一教授（兼任）、景山伯春教授（兼任）及び田中正剛准教授（兼任）に「理工学概論」を追加。
 - ・土田哲生教授（兼任）に「微積分Ⅱ」を追加し、「線形代数Ⅰ」を削除。
 - ・橋本英哉教授（兼任）に「数学基礎演習Ⅰ」「数学基礎演習Ⅱ」を追加。
 - ・大西良博教授（兼任）から「微積分Ⅰ」を削除。
 - ・土屋文教授（兼任）に「再生可能エネルギー工学」を追加。
 - ・坂東俊治教授（兼任）、中山章宏教授（兼任）、池本有勲准教授（兼任）及び本田真己准教授（兼任）から「理工学概論」を削除。
 - ・小澤哲也教授（兼任）から「数学基礎演習Ⅰ」を削除。
 - ・吉久光一教授（兼任）から「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」「理工学概論」を削除。
 - ・齊藤公明教授（兼任）、山本修身教授（兼任）、堀田一弘教授（兼任）、勝浦正樹教授（兼任）、庄村勇人教授（兼任）、松本俊太教授（兼任）、森上敦教授（兼任）、西尾由里教授（兼任）、前田智彦教授（兼任）、大津史子教授（兼任）、鳥居弘志教授（兼任）、藤原康弘教授（兼任）、原田知佳准教授（兼任）、焼田紗准教授（兼任）、新美潤一郎准教授（兼任）、杉浦伸准教授（兼任）、米澤弘毅准教授（兼任）及び野崎佑典助教（兼任）に「データサイエンス・AI入門」を追加。
 - ・坂野秀樹教授（兼任）及び山田宗男教授（兼任）に「データサイエンス・AI入門」「理工学概論」を追加。
 - ・前野俊昭教授（兼任）及び伯田恵輔准教授（兼任）に「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」を追加。
 - ・宇佐美初彦教授（兼任）、向井利春教授（兼任）及び山本恵助教（兼任）に「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」を追加。
 - ・森口舞助教（兼任）及び山崎彬人助教（兼任）に「基礎ゼミナールⅠ」を追加。
 - ・北見宏介教授（兼任）に「環境法」を追加。
 - ・日比野正樹准教授（兼任）に「数学基礎演習Ⅰ」を追加し、「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - ・鍛冶俊輔准教授（兼任）から「微積分Ⅱ」を削除。
 - ・許斐豊准教授（兼任）に「数学基礎演習Ⅱ」を追加し、「線形代数Ⅱ」を削除。
 - ・内村佳典助教（兼任）から「確率統計学」を削除。
 - ・細田晃文准教授（兼任）に「再生可能エネルギー工学」を追加。
 - ・三町祐子准教授（兼任）に「確率統計学」を追加。
 - ・遠藤祐輝助教（兼任）に「体育科学Ⅲ」「体育科学Ⅳ」を追加。
 - ・高部修講師（兼任）から「居住環境創造設計学Ⅱ」を削除。
 - ・久保田英之講師（兼任）に「居住環境創造設計学Ⅱ」を追加。
 - ・大野浩資講師（兼任）に「居住環境創造設計学Ⅱ」を追加し、「居住環境創造設計学Ⅰ」を削除。
 - ・脇坂圭一講師（兼任）から「居住環境創造設計学Ⅱ」を削除。
 - ・相原仁史講師（兼任）から「建設施工学」を削除。
 - ・尾崎智央講師（兼任）から「建設法規」を削除。
 - ・竹内千賀子講師（兼任）から「環境法」を削除。
 - ・Stephen John Hodges講師（兼任）から「プラクティカル・イングリッシュⅠ」「プラクティカル・イングリッシュⅡ」を削除。
 - ・金子森久講師（兼任）及び青山健太講師（兼任）から「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」を削除。
 - ・徳山性友講師（兼任）から「体育科学Ⅲ」を削除。
 - ・安部剛男講師（兼任）から「職業指導論」を削除。
 - ・堀田耕作講師（兼任）から「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」を削除。
 - ・岡智美講師（兼任）から「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」「数学基礎演習Ⅰ」「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - ・片岡紀智講師（兼任）から「線形代数Ⅱ」を削除。
 - ・北河一生講師（兼任）から「線形代数Ⅰ」「数学基礎演習Ⅰ」「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - ・大橋美佐講師（兼任）から「数学基礎演習Ⅰ」「数学基礎演習Ⅱ」を削除。
 - ・林雅博講師（兼任）及び廣橋淳講師（兼任）から「測量学実習」を削除。
 - ・藤澤徹講師（兼任）から「環境共生創造論」を削除。
 - ・阿武木啓朗講師（兼任）から「物理学実験Ⅰ」「物理学実験Ⅱ」を削除。
 - ・田坂浩二講師（兼任）から「微積分Ⅱ」を削除。
 - ・村上一夫講師（兼任）に「環境創造設計法」を追加。
 - ・岩田剛彦講師（兼任）、菅博嗣講師（兼任）及び河崎泰了講師（兼任）に「アーバンデザイン」を追加。
 - ・岡本修行講師（兼任）及び飯田哲徳講師（兼任）に「アーバンデザイン」「居住環境創造設計学Ⅰ」を追加。
 - ・柿島新太郎講師（兼任）に「体育科学Ⅲ」を追加。
 - ・鈴木健二講師（兼任）、山本武志講師（兼任）及び神下竜三講師（兼任）に「環境配慮創造設計学」を追加。
 - ・高田正義講師（兼任）及び内田雄介講師（兼任）に「体育科学Ⅰ」「体育科学Ⅱ」を追加。
 - ・山口毅講師（兼任）に「無機材料合成工学」を追加。
 - ・山口貴士講師（兼任）に「職業指導論」を追加。
 - ・浅井靖講師（兼任）に「建設施工学」を追加。
 - ・太田和哉講師（兼任）に「測量学実習」を追加。
 - ・平山幹朗講師（兼任）に「分離精製工学」を追加。
 - ・林靖郎講師（兼任）に「建設法規」を追加。
 - 開講クラス数の変更により、以下のとおり担当科目を変更。
 - ・重村正之講師（兼任）から「心理学」を削除。
 - ・HARRIS Richard講師（兼任）、Joseph Sichi講師（兼任）、MARSHALL Michael講師（兼任）及びVan Horn George講師に「プラクティカル・イングリッシュⅠ」「プラクティカル・イングリッシュⅡ」を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を相当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	5	0	0	10	0	5	5	0	0	10	0
(5)	(5)	(0)	(0)	(10)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	5	0	0	10	0	5	5	0	0	10	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 <small>※H7.4.1以前採用者：72歳、 H7.4.2～H17.4.1採用者：68歳</small>	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授		R3	選択	住環境創造設計学	①②	所属大学での勤務継続のため就任辞退。(3)			
				選択	快適性創造学Ⅰ	②				
				選択	快適性創造学Ⅱ	②				
				選択	環境創造設備学Ⅰ	③				
				選択	環境創造設備学Ⅱ	③				
				選択	環境マネジメント	③				
				選択	地域環境調査実習Ⅰ	①				
				選択	地域環境調査実習Ⅱ	①				
				必修	ゼミナール	①				
				必修	卒業研究・卒業制作	①				
				選択	居住環境創造設計学Ⅰ	①②				
				選択	居住環境創造設計学Ⅱ	①②				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	5	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	7	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	5	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	7	科目	計	2	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{10} = \boxed{10} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
1	教授		選択	デザイン図法	①	定年退職のため (3)								
			必須	環境創造工学概論 I	①									
			必須	環境創造工学概論 II	①									
合計			後任補充状況の集計											
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
1	人		必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>当該教員の担当科目は、他の専任教員及び兼任・兼担教員が担当することで教育の質を担保しており、学生の履修等への影響はないと考える。そのため、本件に係る特段の周知は行っていない。なお、後任教員の2022年4月採用に向け、現在公募要件等を検討している。(3) 後任教員(准教授)を2022年4月1日付で採用した。(4)</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 環境創造工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部組織として教育改善委員会を設置している。加えて、平成30年度からは各学科FD会議を設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

教育改善委員会は年5回程度開催している。(委員:16名/内訳:委員長(協議員)1名、評価委員長1名、教務委員長1名、学科教員各1名(教養教育は2名)/令和3年度開催回数:7回/令和3年度出席率:94%)

c 委員会の審議事項等

1.初年次教育を中心とした理工学部の教育改善に係る諸課題への対応、2.入学前教育への対応
3.理工学基礎科目教育への対応、4.FD・SDへの対応、5.教育改善に関わる諸事業への対応等

② 実施状況

a 実施内容

- 各学科における学修行動調査の実施内容に係る意見交換
- FDフォーラムの実施について検討
- 入学前学習プログラム(名称:MECプログラム)の学部企画内容についての実施体制等の検討等

b 実施方法

- 各学科において、教育上の必要に応じた学修行動調査を検討し、教育改善委員会で意見交換を行った。また、調査実施後の分析についても適宜、同委員会で意見交換を行っている。
- 学部または各学科において求められるFD教育について意見交換を行い、今後のFDフォーラムの実施内容について検討した。
- MECプログラムについて意見交換を行い、適切なプログラム内容及び実施方法を検討した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

教育改善委員会は年5回程度開催している。(委員:16名/内訳:委員長(協議員)1名、評価委員長1名、教務委員長1名、学科教員各1名(教養教育は2名)/令和3年度開催回数:7回/令和3年度出席率:94%)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- FDフォーラム等により、教員の授業改善につながる話題提起を行っている。
- 授業改善アンケート等の実施方法から実施内容の有効性を検証し、授業改善につながる取り組みの更なる充実を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学全体の教育改善に係る推進組織である大学教育開発センターが主体となり、全学部で前期及び後期授業終了時に授業改善アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業改善アンケート結果は報告書として取り纏め、本学ウェブサイトで公開している。また、教員別調査結果は冊子等を各学部事務室に配布し、教員・学生が閲覧可能である。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、科学技術や文化の発展に伴い生活水準が飛躍的に向上した一方で環境の持続性が危ぶまれる昨今において、わが国が目指す「持続可能な経済社会システムの構築」への更なる貢献を目的に「理工学部環境創造学科」の理念を継承しつつ、従来の「工学」の教育課程を土台とした先端的学問領域としての「環境工学」に特化した学科として設置され、環境に携わる技術者・研究者の養成を目指すことを目的に以下の取り組みを実施した。

【学生募集・入学者選抜】

オープンキャンパス・入試説明会(オンライン開催を含む)等を行い、受験生・保護者及び高校教員等への本学科人材養成目的及び教育課程等の周知・浸透を図った。その結果、令和4年度は入学定員80名に対し、出願者数581名(内訳:一般選抜534名、総合型選抜・学校推薦型選抜・特別選抜47名)、受験者数543名、合格者数261名、入学者数64名、入学定員充足率0.80倍であった。

次年度以降も入学定員充足率が1.00倍に近づくよう、適切な合格判定を行うとともに、本学科の教育課程等の浸透に向けた広報活動を推進する。

【履修指導】

新型コロナウイルス感染症は収束していないものの、令和4年度は新入生に対して感染対策を講じた上で、新入生オリエンテーションを対面で実施し、教育課程や履修方法等について説明した他、学務センター窓口での履修相談期間を設け、問合せに対応した。在学生には、在学生ガイダンスを対面で実施した他、履修相談期間を設けて問合せに対応した。説明資料は新入生オリエンテーション及び在学生ガイダンスでの配布と併せて本学ウェブサイトに掲載した。

【教育課程編成・実施】

教養教育は、人文・社会・自然科学、語学、情報技術、体育等の科目を体系的に学修できるよう教育課程を編成・実施している。専門科目は、3つの教育研究分野に本学科専任教員(エネルギー・資源循環分野4名、環境共生分野3名、人間活動環境分野2名)を配置し、当該教員を中心に各分野が抱える諸問題の理解・対応に向け、各講義形態を適切に組み合わせた教育課程を編成・実施している。各科目の教育課程における科目内容等の妥当性は、受講率・学修習熟度・授業改善アンケート等から検証する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

公表済み

b 公表方法

本学ウェブサイトに掲載。(https://www.meijo-u.ac.jp/about/outline/valuation/assurance.html)

③ 認証評価を受ける計画

令和4年度に公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価(第三期)を受審する。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和4年度)

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。